



令和8年2月2日発行

なかのしまのぞみ保育園

年明けから胃腸炎に罹患する子どもたちが徐々にみられるようになってきました。家族感染の報告も多くありました。冬はウイルス性胃腸炎が流行する季節ですので、嘔吐・下痢症状がみられましたら登園はお控えいただき必ず受診をお願いします。また、受診後は食事がいつも通りに摂取出来ていることと、下痢症状がないことを必ず確認してから登園をお願いします。園では胃腸炎症状が疑われる場合、1回の嘔吐や下痢でもお迎えの連絡をすることがありますので、状況に応じてお迎えのご協力をお願いいたします。現在は幼児クラスでインフルエンザBが流行しています。急な発熱の際にはお迎えと医療機関の受診のご協力をお願いいたします。感染症の診断がついた場合は園までお知らせください。

1月の園児の感染症についてお知らせします。インフルエンザB型8名、感染性胃腸炎2名でした。

引き続き、お子様の体調管理には十分注意してください。

2月の園医健診予定 対象クラス 全クラス

2月25日（水） 14時から



幼児対象健康教育

1月のテーマは「脳について」

初めてお話しする内容でした。

プロジェクターを使用して脳のお仕事をお勉強。からだを動かすことや、物を見ること、考えることも脳がしている大事なお仕事ということをお伝えしました。ののはな組さんには少し難しいお話だったかもしれないけれど、自転車に乗るときはヘルメットをかぶること、普段から頭の怪我には気をつけることを覚えてくれていたら嬉しいです。

子どもが嘔吐したら……

ここを確認！

- おなかが痛がったり、下痢をしていないか？
- 食べすぎや飲みすぎはなかったか？
- 吐く前に食べたものは何だったか？
- 吐く前に頭やおなかを打っていないか？
- 熱はないか？

吐いた後ぐったりしている、機嫌が悪いなど、様子によっては急いで受診しましょう！



何度も吐き続けるときは……

- 食べ物や飲み物を与えず、安静にする
- 吐いたものが気管に入らないように、上体を起こすか、顔を横に向けて寝かせる

吐き気が治まったら……

- さゆや麦茶、野菜スープなどを、ひと口ずつゆっくり飲ませる



かぜからくる 急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管（鼻と耳をつなぐ管）を通して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。

高熱

症状

一時的な難聴
閉そく感

激しい
耳の痛み



予防

- 鼻水はこまめにとる
- はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ



繰り返しやすい、しんしつせい滲出性中耳炎に移行しやすいので、きちんと治すことが大切

園では、お子様が嘔吐や下痢または便等でお布団やお洋服が汚れてしまった場合、園内の感染流行を防ぐために、洗わず、密封してお渡ししています。その為、以下の方法でご家庭で消毒・洗濯をしていただくよう、ご理解とご協力をお願いします。

おう吐で汚れた服を消毒するときは……

1 手袋とマスクをつける

素手で触れないよう、ゴム手袋や使い捨てのビニール手袋をつけましょう。また、使い捨てマスクをつけておくと安心です。

2 換気しながら開封する

吐いたものにウイルスが含まれていることがあります。乾燥したウイルスが体内に入ると、感染することがあるため、必ず換気ができる場所で袋を開けましょう。

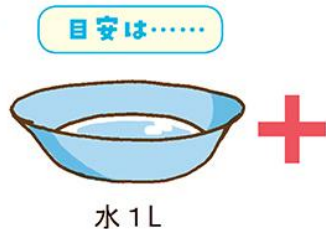
3 汚れを取り除く

服についた汚れをペーパータオルなどでふき取ります。取り除いた汚れにはウイルスが含まれているおそれがあるので、汚れをふき取ったペーパータオルはポリ袋を二重に密封して捨てましょう。

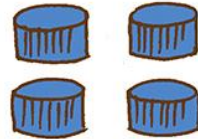


4 消毒液を作る

塩素系消毒薬を、0.1%の濃度に薄めます。製品に記載されている希釈方法を守りましょう。



目安は……
水 1L



消毒薬原液
ペットボトルの
キャップ 4 杯
(製品濃度 6%の場合)

注意! 色落ちします!

塩素系消毒薬は、衣類につくと色落ちします。色落ちさせたくない場合は、85度以上の熱湯に1分間つける方法もあります。

5 消毒液にしっかり浸す



消毒液が行き渡るよう衣類を広げ、しっかり消毒液に浸します。

6 ほかのものと分けて洗濯する

消毒が終わったら、ほかの衣類と分けて洗濯します。

7 手などをよく洗う

処理に使った使い捨て手袋やマスクはポリ袋に密封して捨て、最後に手を流水とせっけんでよく洗いましょう。